

第94回 みんなで作る音楽会 報告

日時：12月10日 水曜日 13:15 から 16:40

場所：公民館 114 室 7315

参加者：岡田、北風、久我、塩路夫妻、下中、庄司、田中、筑摩、天王寺谷、兵東、榎本、松山、光長、三村、山川夫妻、安居院（記）計 18 名 [下線は例会のみ出席]

バイエルン国立歌劇場 2023 シュトラウス喜歌劇「こうもり」

今回は、年末恒例のオペレッタ「こうもり」を見た。豪華絢爛、盛りだくさんの仕掛けに驚きながら、楽しむことができた。ばかばかしい筋書きだが、シュトラウスによる纏綿とした情緒と活気に溢れた音楽に彩られた艶笑劇。年末の風物詩になっている。とにかく、楽しんで年末を過ごそうという企画。去年は、カルロス・クライバーの名演を見たが、今年バイエルン歌劇場管弦楽団創設 500 年を記念する豪華な公演だった。世界の多くの人々が楽しんでいる舞台を我々も、一緒に楽しんでみる事ができた。

1. 喜歌劇「こうもり」 13:15-16:20

演出：バリー・コスキー

出演：ゲオルク・ニグル（アイゼンシュタイン）、
ディアナ・ダムラウ（ロザリンデ）、
アンドリュウ・ワッツ（オルロフスキー公）ほか
指揮：ウラディーミル・ユロフスキ

収録：2023/12/28、31

感想；

とても賑やかな演出であった。
まずは、ヨハン・シュトラウス曲が素晴らしい。
そして、歌手陣も役者揃いで、楽しめた。
二幕のオルロフスキの夜会は、コスキーらしい
派手派手でファンタスティックなメイクとコス
チューム。コスキー節炸裂で見た目鮮やか。
O.シュンク版至上主義者には、ちょっとついて
来れないだろう。それでいいのだ。

イーダのスタイルと衣装が 20 年代風で華やか。
もはや男も女も関係なくキラキラのラメの眉毛に
あご髭。ついて来なくて当然です。
オルロフスキのカウンターテノールは見た目ほ
どの強烈さは感じず。でも、普段聞きなれない



カウンターテナーは、驚きの響きがあった。
バリー・コスキーらしい夜会の派手さがよく出た舞台だった。衣装の色合いが綺麗だった。
三幕 フロッシュはなぜか6人組で、うちひとりが延々とタップダンスを踊る。

三幕 刑務所長フランク役のマルティン・ヴィンクラーが今回のコスキーの最大の犠牲者(笑)。
裸にハイヒール、乳首にキラキラの飾りを着け、小さなパンツの中から鍵の束やら大きな鍵やらを取り出す。
今回のスラップスティック的コメディの体当たりの演技は更に磨きがかかっていた(笑)。

配役

【女性陣】 まずはロザリンデのダムラウが流石。表現はピカイチで、ともすると主役をアデーレに持っていかれがちの処を誰が主人かを魅せ付けた。年齢具合もフィットしている。
アデーレのコンラディもダンスも歌も、見栄え、演技とも良かった。

【男性陣】 アイゼンシュタインはバリトンのニグルで'おちゃらけ'気配を上手くこなした。
やっぱりバリトンでしょうアイゼンシュタインは。フランクのヴィンクラーは驚きの一言。
まずお堅い刑務所長らしい演技と身なり(一幕)で、メチャクチャな仏語も面白く(二幕)、最後にストリッパーシーン(三幕)だからびっくり。
オルロフスキー公爵にカウンターテノール(通常はメゾソプラノ)のワッツを使ったのはジェンダーレスのキーでもあった。
(舞踏会のメンバーも男女の見分けしづらさを作っていた) 歌声と演技は何の問題もない。
アルフレードのパニカーは役柄にとっても合っていた。程良く抑えたテノールも良かった。
ファルケ博士のブリュックは落ち着きと洒脱なお笑い感が良かった。



音楽

もちろん指揮は音楽総監督を務めるユロフスキで、まず序曲は軽快さの中にアゴーギク（演奏においてテンポやリズムを意図的に変化させることで行う、音楽上の表現の一つ）を入れメリハリを付けていた。全体としても歌劇のバックらしく抑え気味な流れにピークは大きく鳴らしてコントラストはあった。

オペレッタらしさに今の時代のちょっとした過激さで楽しさ溢れる 'こうもり' になった。ソリスト陣もフィットして、楽しめた。

ベストキャストはロザリンデのダムラウだ。今回の華やかな楽しさを牽引した。

2. 休憩

15:15-15:25

兵頭リーダーから、心臓の手術を終えてほっとはしているが、耳の調子がいまいちなので、リーダーを安居院さんに譲りたいという提案があった。メンバーからは特に異論もなく、次回から、安居院がリーダーを務め、兵東さんは一会員として参加することとなった。

3. カラヤン ベルリンフィル ブラームス交響曲 2 番 第一楽章 16:20-16:40

時間調整のために、名曲シリーズから聞いてみた。

4. 忘年会

17:00-19:40

場所は阪神芦屋駅の南、

インド料理 アンビカ ダイニング & Bar

【アジアンコース】ナン 2 種 + カレーをメインにインド風つくね・タンドリーチキンなどお酒と好相性の一品も楽しめる満足プラン！

感想；

当初、100 分飲み放題付 3,500 円と、お知らせしていましたが、この時間内で、飲み放題を済ませて、3,600 円で 120 分ということになっていた。

ところが、前回と同様に一階のお客はほとんどいないので、2 階の我々だけに料理を出してくれればよいのに、どういうわけか今回も料理の出方が遅い、そのためフリーではあるが、時間つぶしに飲料をたくさん飲む羽目になった。最後のカレーが出てくるのは、開始から 100 分後ぐらいであった。その代わり飲み放題のオーダーストップも遅くまで受け付けてくれて、仕上げにホットコーヒーまでいただくことができた。

お陰様で、会員の皆様ど同士での会話が弾んで楽しかった。

お酒、ソフトドリンク、料理は、どれもおいしかったので、皆さまがたは、それぞれおなか一杯になって、満足して帰路につかれたことと思う。多くの方々からチーズナンがおいしかったと言われた。



以上